



平成 30 年 7 月 30 日

開催前日（8月2日・木 11:00）プレオープン（マスコミ向け内覧会）の案内

## 2018 年度資料展示『病理学者、原子野をゆく

—広島大学医学部教授・玉川忠太の原爆症への挑戦—

1945 年 8 月の原爆投下直後から、広島では多くの医学者による救護活動が行われた。彼らは、当時としてはまだ知られていない原爆被災を受けて傷ついた多くの人々を目の前にして、その原因の究明や治療に力を尽くした。特に、医学者にとって未知の世界であった放射線災害の原因究明は、重く大きな課題となった。そして、その中に、広島大学医学部病理学教室の初代教授となった玉川忠太がいた。この当時、玉川は広島医学専門学校の教授であり、被爆直後の広島の原子野で奔走した科学者の一人であった。

本展示では、昨年 8 月に確認した広島大学大学院医歯薬保健学研究科分子病理学研究室に所蔵されている玉川忠太資料を中心に、原爆放射線医科学研究所所蔵資料なども含め、被爆直後からの医学者たちの取り組みの一端を紹介する。

現在も原爆による身体への影響の実像は明らかではない。しかし、玉川忠太のような当時の広島の医者・医学者の究明への努力がスタートしなければ、被ばくの問題について、現在のレベルほどに今私たちは迫ることはなかったはずである。その原点の意味を改めて問い直す。

### 記

1. タイトル：「病理学者、原子野をゆく —広島大学医学部教授・玉川忠太の原爆症への挑戦—」
2. 場 所：広島大学医学部医学資料館（広島大学霞キャンパス）
3. 開催期間：2018 年 8 月 3 日（金）～9 月 20（木）  
**※前日（8月2日（木）11:00）プレオープン（マスコミ向け内覧会）**
4. 特別協力：広島大学大学院医歯薬保健学研究科 分子病理学研究室
5. 共 催：広島大学原爆放射線医科学研究所・広島大学医学部  
放射線災害・医科学研究拠点（広島大学・長崎大学・福島県立医科大学）

#### 【申込みお問い合わせ先】

広島大学原爆放射線医科学研究所  
附属被ばく資料調査解析部  
担当：久保田明子  
TEL:082-257-5936, 082-257-5877  
FAX:082-257-5878

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）

# 病理学者、 原子野をゆく

—広島大学医学部教授・玉川忠太の原爆症への挑戦—

(広島大学医学部所蔵資料および原爆放射線医科学研究所所蔵資料より)

※当時の玉川は広島大学医学部の前身である広島医学専門学校の教授でした

2018年 8/3(金)~9/20(木)

広島大学医学部医学資料館

10:00~16:00 (土曜日・日曜日・祝日・夏季休暇日閉館)  
広島大学雷キャンパス(大学病院前)

※入場無料※

特別協力 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 分子病理学研究室

共催 広島大学原爆放射線医科学研究所・広島大学医学部

放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島県立医科大学)

企画・製作 広島大学原爆放射線医科学研究所附属被ばく資料調査解析部

背景写真：湯崎稔資料 (広島大学原爆放射線医科学研究所所蔵)

\*展示問い合わせ TEL: 082-257-5877 附属被ばく資料調査解析部

## 【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部 広報グループ 行

開催前日8月2日(木)11:00プレオープン(マスコミ向け内覧会)の案内

### 2018年度資料展示『病理学者、原子野をゆく —広島大学医学部教授・玉川忠太の原爆症への挑戦—』

日時：2018年8月2日(木)11:00~12:00

場所：広島大学医学部医学資料館(広島大学霞キャンパス)

ご出席

ご欠席

貴社名 \_\_\_\_\_

部署名 \_\_\_\_\_

ご芳名 \_\_\_\_\_ (計 名)

電話番号 \_\_\_\_\_

誠に恐れ入りますが、上記にご記入頂き、8月1日(水)12:00まで  
にご連絡願います。

